



中学校1年

教科	活用場面	番号・活用シート名	領域番号	基になった活用シート名	市町村	学校
英語	授業	①きのう何をしたかな	書1②	だれがなにをしているか書こう	能勢町	能勢中学校
国語	授業	②短歌に親しむ	言4②	短歌に親しむ	豊能町	東能勢中学校
国語	授業	③げんこうようしのつかいかた	書3	げんこうようしのつかいかた	島本町	第一中学校
国語	授業	④発想シートをもとに物語を作ろう!	書14②	物語を作ってみよう!	枚方市	山田中学校
国語	授業	⑤インタビューをもとに、友だちを紹介しよう	話聞567	質問じょうずになろう インタビュー名人になろう その生き物がすきなわけ	池田市	ほそごう学園
国語	授業	⑥大人になれなかった弟たちに……	書11 書17	読書感想文を書こう(中級・上級)	八尾市	大正中学校
国語	授業 家庭学習	⑦新店舗オープンの案内ポスターを作成する	書10	買いたくなる広告を作ろう!	和泉市	信太中学校
国語	授業	⑧接続する語句	読7②	文と文をつなぐ言葉	八尾市	大正中学校
国語	授業	⑨学んだことを説明する文章を書こう	書7	今日学んだこと、教えるよ!	富田林市	第三中学校

子どもの様子（発言、ノート、板書、解答例、写真 等）

（解答例）

Date: _____

きのう何をしたかな? シートA

Class No. Name

ポイント それぞれの人がきのうやったことを相手に伝えよう。

1. それぞれの人物がきのうやったことを聞いて、あてはまる絵を線で結ぼう。

【会話例】 A: What did Tom do yesterday?
B: He listened to music.

Tom	Akira	Yuki	Ken	Kumi	Jun	Saki
-----	-------	------	-----	------	-----	------

listen to music watch TV cook dinner play tennis study English use a computer clean the room

2. それぞれの人物がきのうやったことを書いてみよう。

【例】 Tom listened to music yesterday.

（板書）

（英文を作りときのヒント）
それぞれの人物がきのうやったことを表す動詞の過去形

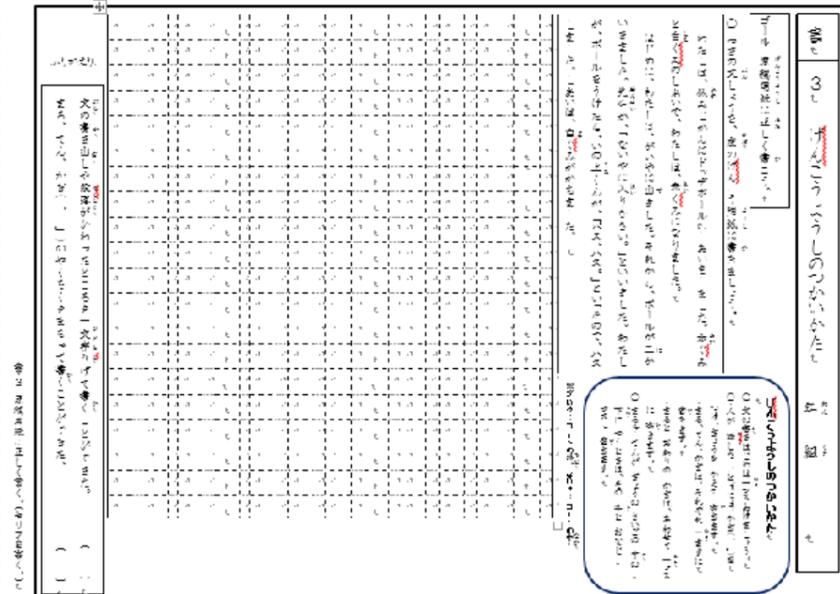
動詞	目的語
<u>watched</u>	TV
<u>cooked</u>	dinner
<u>played</u>	tennis
<u>studied</u>	English
<u>used</u>	a computer
<u>cleaned</u>	the room

2. それぞれの人物がきのうやったことを書いてみよう。

Akira watched TV yesterday.
Yuki played tennis yesterday.
Ken cooked dinner yesterday.
Kumi used a computer yesterday.
Jun studied English yesterday.
Saki cleaned the room yesterday.

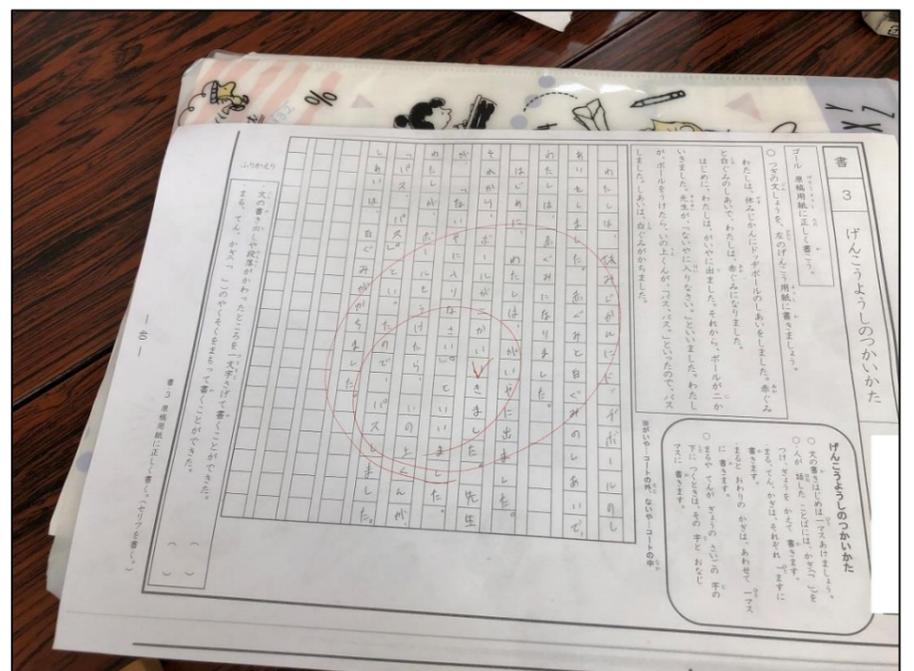
「ことばのちから」活用シート 活用事例

【島本町立第一中学校】

活用シート名	③げんこうようしのつかいかた			基になった活用シート名	書3 げんこうようしのつかいかた
学年	中学校1年	教科	国語	時期	11月
活用場面	授業（導入）			配当時間	15分
目標	既習事項（原稿用紙の使い方）を復習する。				
活用シート 工夫した点				<ul style="list-style-type: none"> ●句読点や記号をどのように書くか確認する。 ●読みやすく相手に伝わる文章にするために正しく原稿用紙を使うことの大切さを確認する。 	
成果や改善点	<ul style="list-style-type: none"> ●活用シートを復習として使うことによって、既習事項をおさえて、小論文の学習スムーズに進むことができた。 ●既習事項をすっかり忘れてしまっているという生徒もいたので、今後も折りをみて確認する必要があると感じた。 				

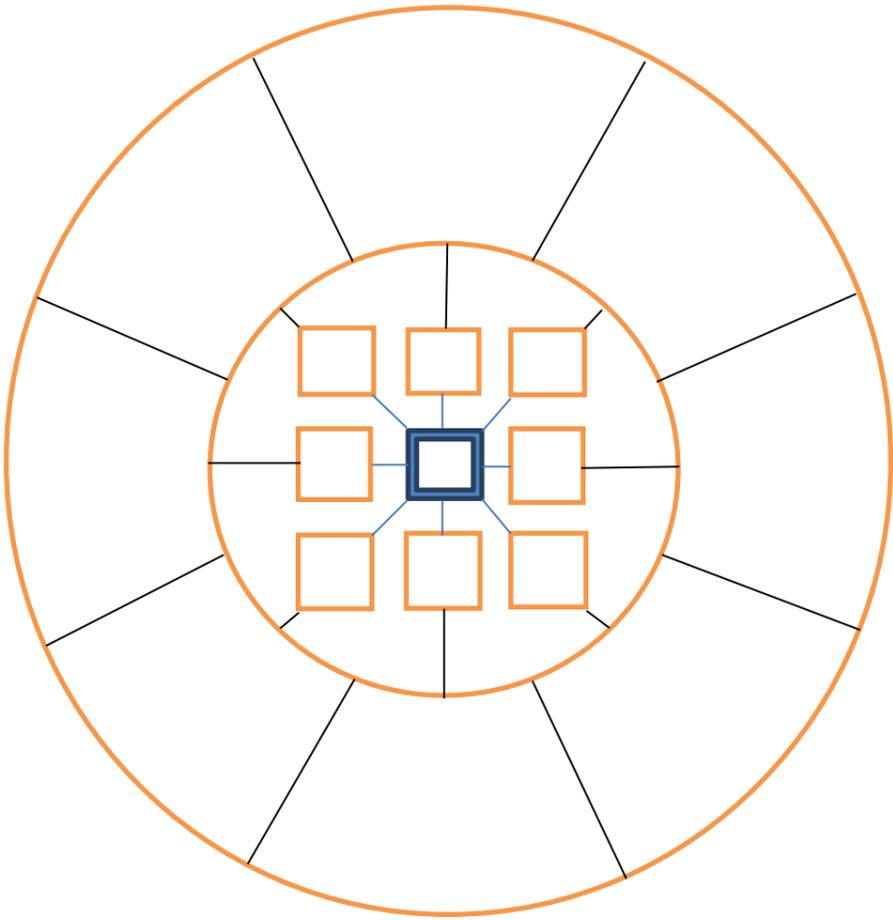
子どもの様子（発言、ノート、板書、解答例、写真等）

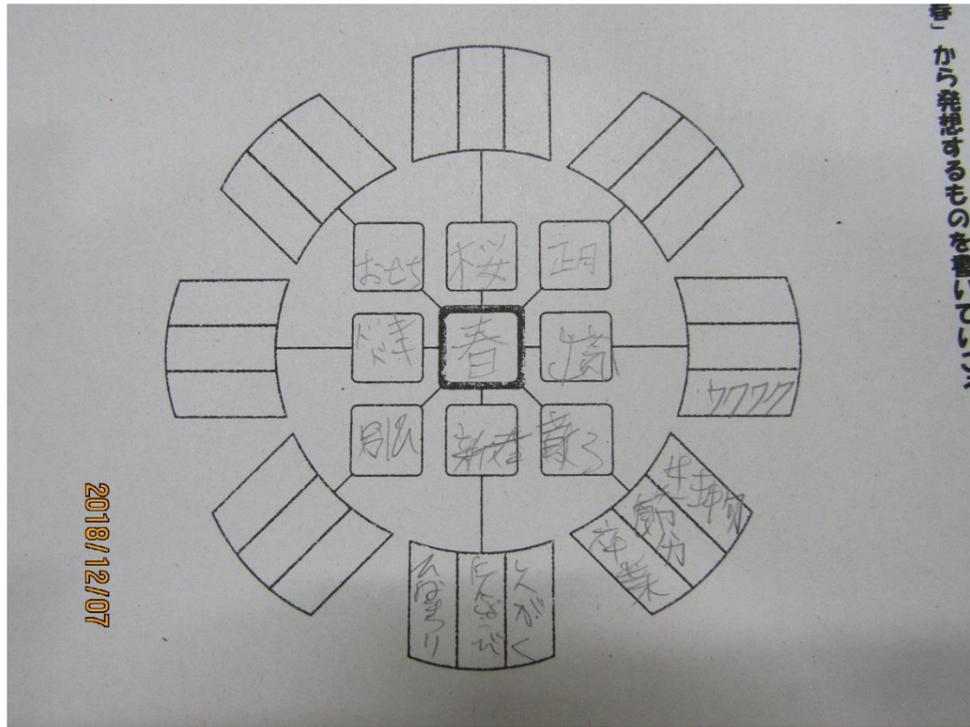
+



「ことばのちから」活用シート 活用事例

【枚方市立山田中学校】

<p>活用シート名</p>	<p>④発想シートをもとに物語を作ろう！</p>			<p>基になった活用シート名</p>	<p>書 14② 物語を作ってみよう！</p>
<p>学 年</p>	<p>中学校 1 年</p>	<p>教 科</p>	<p>国語</p>	<p>時 期</p>	<p>1 2 月</p>
<p>活用場面</p>	<p>授 業（教科書 P 260）</p>			<p>配当時間</p>	<p>1 時間</p>
<p>目 標</p>	<p>さまざまな思考から発想シートを作り、その言葉から連想する内容をもとに自由に物語をつくることができる。</p>				
<p>活用シート ・ 工夫した点</p>	<div style="text-align: center;">  </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 中心にテーマ「春」を書き、そこから連想する言葉を周囲の八つのマスに書き込む。 ● 書き入れた言葉それぞれの外側にさらに連想される言葉を三つずつ書き込む。 ● 発想シート全体を見て、思いのままに短い物語をつくる。 <ul style="list-style-type: none"> ・二から三段落で書く。 ・250 字以上 300 字以内で書く。 ・題名を自由に書く。 				
<p>成果や改善点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「春」という漠然とした言葉ではあったが、そこからいろいろな言葉を連想することが出来る子と出来ない子の差が見られたため、「春」は旧暦も考えて、1、2、3、4、5月ころだよとヒントを与えた。 ・1月から5月ということで、行事を考えることができ、そこからさらに言葉を広げられた。 ・『発想シートに書き出した言葉をいくつか使って作文をしよう。』と条件を出したところ、物語ではなくて説明文になってしまった生徒が多く見られた。・・・これは、指示の仕方をもっと具体的にすべきだったと反省。 ・「春」というテーマからこんなに多くの言葉を連想できることに驚いている生徒もいて、周囲のお友だちと言葉の見せ合いをし、自分の中になかった言葉の発見ができていたようだ。 ・「春」という名詞から「桜」などの名詞を連想するだけでなく、「わくわく、ドキドキ」などの感情を表す言葉や「きれい、さわやか」などの形容詞や形容動詞を連想することができて、多方面に言葉を広げられていた。 				



2018/12/07

・Bさんのワークシート

なかなか発想シートが書けなくて、かなり悩んでいました。

ただ、「春」→「出会い」→「ワクワク」

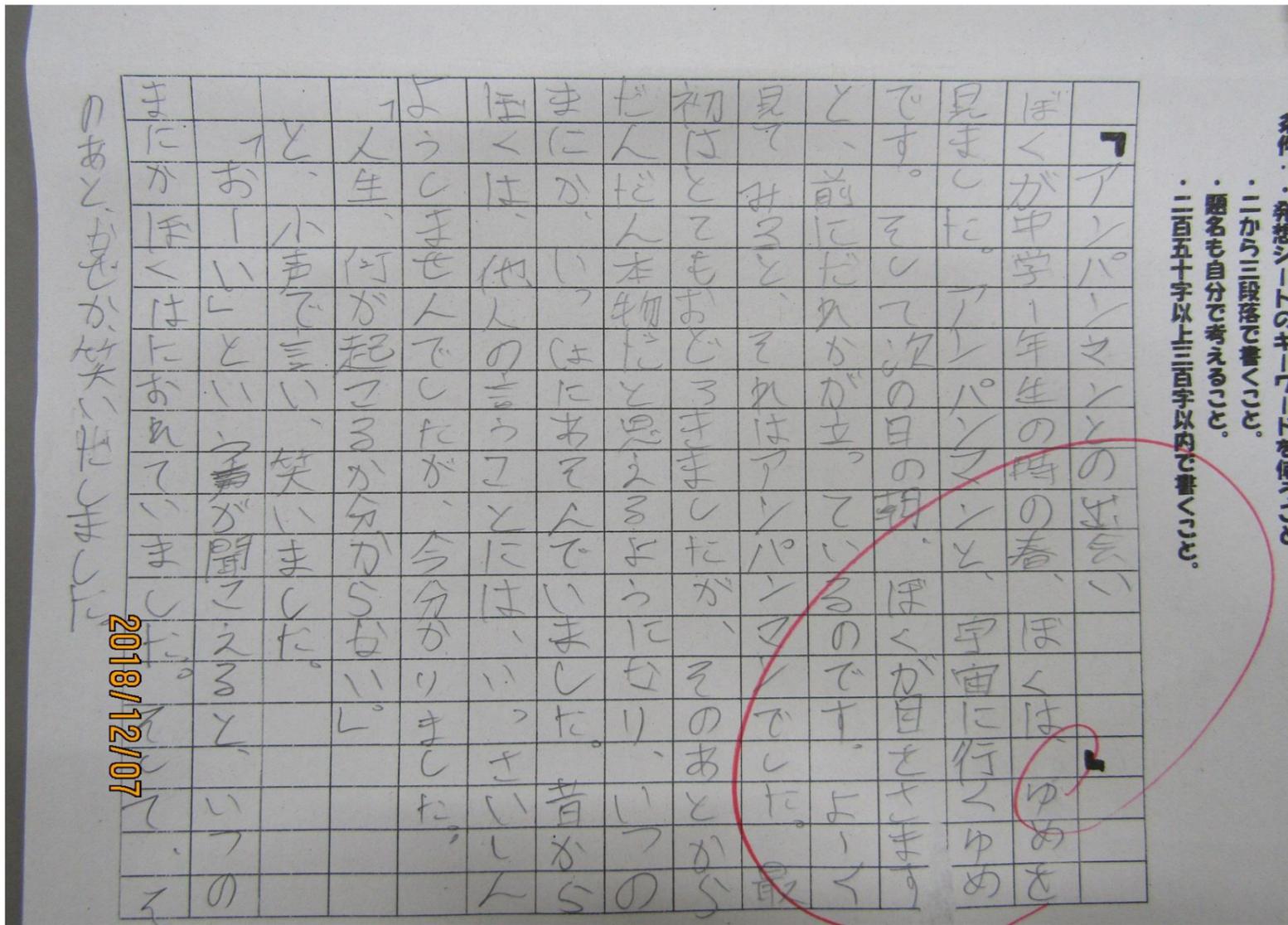
→「ドキドキ」

という発想から、大好きな『アンパンマン』へと発想を膨らませ、そこから独創的なお話を作ることができました。

「発想シートに書き込んだ言葉をいくつか使って文章を書きましょう。」という条件は満たしていませんが、彼の中で「アンパンマンとの出会い」というお話が膨らみ、いっしょに書き上げることができました。

〈本人の様子〉

国語が苦手で、学力的にも課題の見られる生徒ですが、「アンパンマン」へと発想をつなげることができた瞬間、いっしょに文章を書き上げていました。とても楽しそうに、うれしそうに教師に見せにきてくれました。



のあと、おどかしくなりました

2018/12/07

「ことばのちから」活用シート 活用事例

【池田市立ほそごう学園】

シート名	⑤インタビューをもとに、友だちを紹介しよう			基になった活用シート	話聞5 質問しようになろう 話聞6 インタビュー名人になろう 話聞7 その生き物がすきなわけ
学 年	中学校1年	教 科	国語	時 期	6 月
活用場面	授 業			配当時間	2時間
目 標	閉じた質問と開いた質問の2種類があることを理解したうえで、相手のことをよりたくさん知ることができる質問をする。				
工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> ●質問には、答えが1つの閉じた質問と様々な答えがある「開いた質問」があることに気づかせる。その上で、自分が相手にどのような質問をしたら話が広がったり、より深く相手のことを知ることができるのかを考えられるよう、スモールステップのワークシートにした。 ●もとのワークシートは小学生を対象にしているので、中学生で活用する際に、質問そのものを考えさせるような、ものにした。 ●「なぜ～ですか。」「～な理由はなんですか。」など、「問い」の文を考えることが中学生でも苦手な生徒はいるので、「質問のかたち」を守ってワークシートに記入するよう指示をした。 ●質問をもとに、相手から聞きだした情報を整理して伝えるという最後のゴールを設定して、「質問の工夫」の必然性を持たせた。 				
次回への改善点	<ul style="list-style-type: none"> ●質問の内容が、相手のことよりも、相手が話す内容、(例えば、テレビ番組ならその番組の放映時間や、出演者など)を詳しく聞き取ってしまっていた。 ●実際のインタビュー活動の前に、「閉じた質問」「開いた質問」の使い分けだけではなく、調べればわかること、直接本人にインタビューしなければわからないこと・・・などの違いにも注目させる必要がある。 				

子どもの様子（発言、ノート、板書、解答例、写真 等）

- あらかじめ準備していた質問をはじめはしていたが、時間が余ったり、相手の答え次第で準備していた質問が使えなかったりしたようだ。
- ただ、臨機応変に対応する場面もあり、楽しんで相手の事を知ろうと質問をしていた。普段の会話ではなく、「質問」を意識させていたので、「～ですか。」「それはなぜですか。」と丁寧に「問い」のかたちで質問をしていた。
- ふりかえりに、『「開いた質問」をすることで、相手からいろんなことが聞きだせる。一方、閉じた質問は、すぐに話が終わってしまった。』と書いた子がいて、実際にインタビューをすることで、質問の「質」について気付くことがあったようだ。
- 「話すこと」は「型」があると、スピーチでも発表でも格段に質が上がる。内容も大切であるが、言葉の使い方（質問、意見、反論など）を「型」として教えて、使えるようにすることの意味は大きいと感じているので、このようなワークシートで、「型」を伝えていくことは大切だと感じた。

活用シート（改良版）

[目次へ戻る](#)

「ことばのちから」活用シート 活用事例

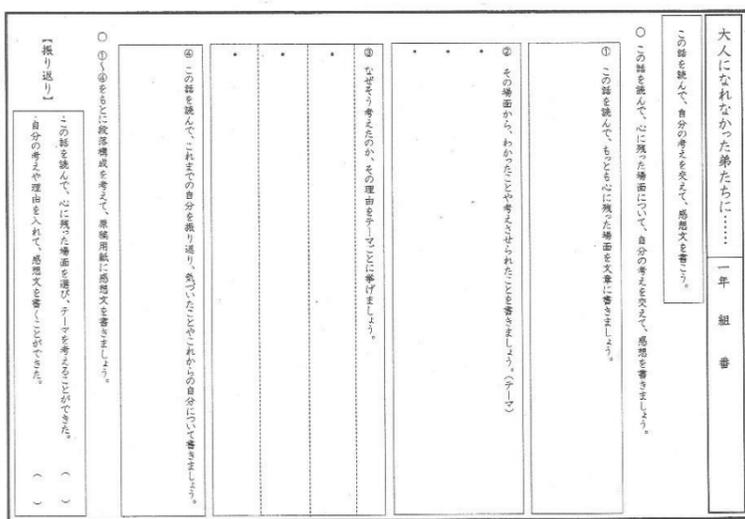
【八尾市立大正中学校】

活用シート名	⑥大人になれなかった弟たちに……			基になった活用シート名	書11・書17 読書感想文を書こう (中級・上級)
学年	中学校1年	教科	国語	時期	9月
活用場面	授業(導入)			配当時間	2時間

目標 この話を読んで、自分の考えを交えて、感想文を書こう。

活用シート

工夫した点

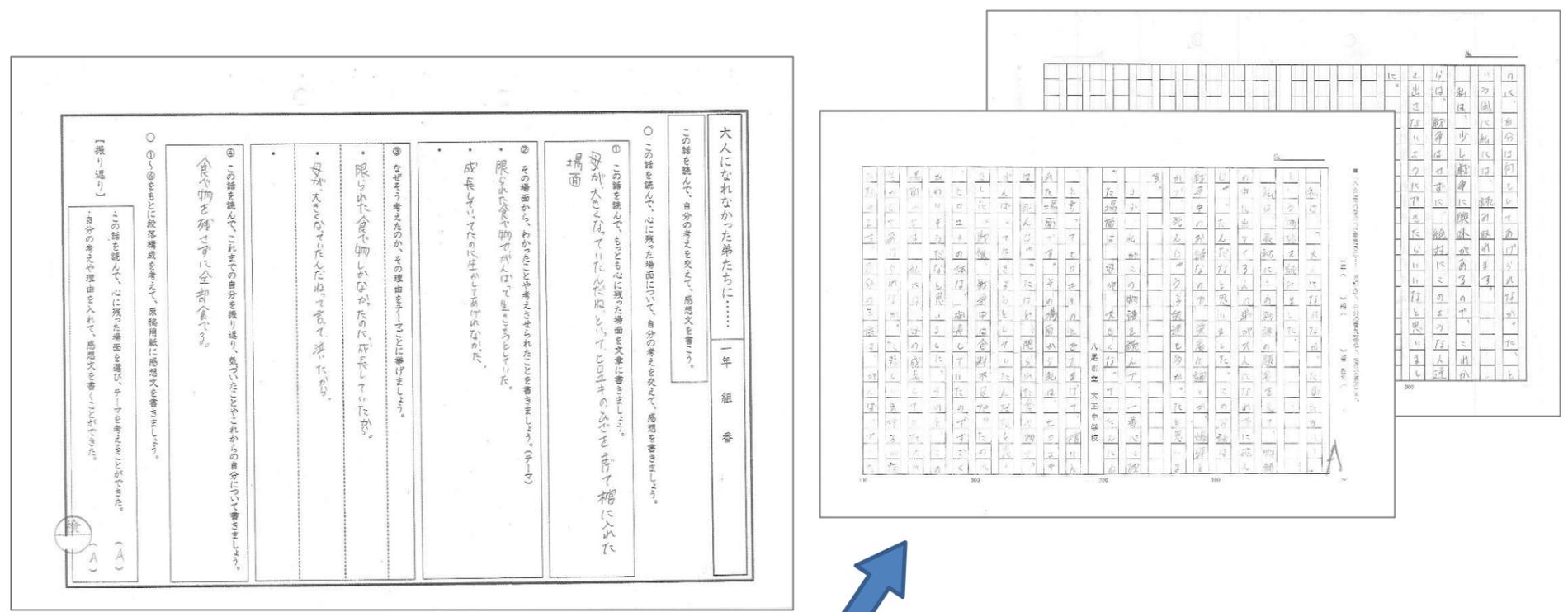


- 教材の初発の感想文を書けるように、活用シートの中級と上級をあわせて取り入れた。
- 感想だけでなく、教材の読み取りもしやすいようにワークシートの文言を変えた。

成果や改善点

- 全員が活用シートを基に、感想文を書くことができた。
- 授業を進める中でも活用シートの内容を参考にすることで、個人の理解に役立った。
- それでも、学力の低い生徒には分かりにくい点もあったようなので、内容や文言の工夫も必要である。

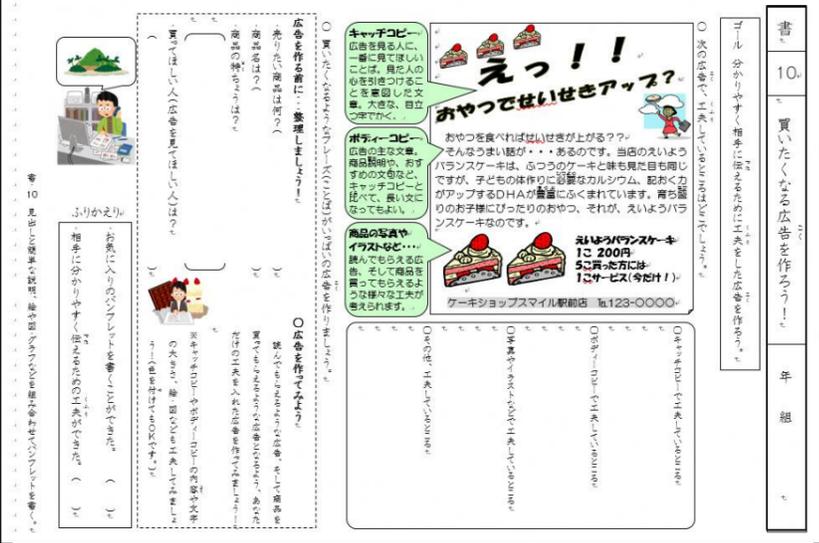
子どもの様子(発言、ノート、板書、解答例、写真等)



活用シートを基に原稿用紙に感想を書く

「ことばのちから」活用シート 活用事例

【和泉市立信太中学校】

活用シート名	⑦新店舗オープンの案内ポスターを作成する			基になった活用シート名	書 10 買いたくなる広告を作ろう！
学年	中学校 1 年	教科	国語	時期	9月
活用場面	授業・夏休み宿題テスト			配当時間	50分
目標	文章から正しい情報を読み取るとともに、効果的なフレーズを自ら考え、ポスターの文言を作成することができる。				
活用シート 工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> ● 2人の人物の会話の中にキーワードを織り交ぜて、設問の内容を読み取る課題を設定した。 ● 「ポスターとして見てもらうために、必要な情報を設定する」ための例として、「ことばのちから」の教材を、例や練習の材料として活用した。 ● 特に、「キャッチコピー」に注目し、実際に世の中で使われている言葉にも触れながら、考えを構築するための道筋とした。 				
成果や改善点	<ul style="list-style-type: none"> ● (成果) 創作することへの抵抗を減らし、自由に描写することの楽しさと手立てを身につけられる生徒が多数いた。 ● (成果) 授業で練習し経験した内容から活用させた問題をテストに出題したことで、無回答率は低く、正答率も予想以上に高い結果が出た。 ● (課題) 問題の内容を限定的にしすぎたことから、解答の多様性には欠けることになり、自由度の低い解答となった。 ● (課題) 採点・返却の日程により、読み取りの内容に問題が偏り、練習した創作の内容が多くは出題できなかった。 				

子どもの様子（発言、ノート、板書、解答例、写真 等）

「宣伝文句」を考える、「書く」観点の問題では、8割程度の生徒が正解に。

夏休み明けの宿題テストのひとつの設問として出題。

宿題テストの解答欄。

あなたの考えたポスター

(店名) ①

②

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

⑩

⑪

⑫

⑬

⑭

⑮

⑯

⑰

⑱

⑲

⑳

㉑

㉒

㉓

㉔

㉕

㉖

㉗

㉘

㉙

㉚

㉛

㉜

㉝

㉞

㉟

㊱

㊲

㊳

㊴

㊵

㊶

㊷

㊸

㊹

㊺

㊻

㊼

㊽

㊾

㊿

開店日、ハーフの種をプレゼント!

開店

は、午前9時から午後5時まで

(場所)

「ことばのちから」活用シート 活用事例

【富田林市立第三中学校】

活用シート名	⑨学んだことを説明する文章を書こう			基になった活用シート名	書7 今日学んだこと、教えるよ!
学年	中学校 1 年	教科	国 語	時 期	6 月
活用場面	授業（ふりかえり・活用）			配当時間	20分

目 標 つなぎ言葉を意識して、わかりやすく説明するための文章を書ける。

活用シート

工夫した点

- 「はじめ」「中」「終わり」を「序論」・「本論」・「結論」に変更した。
- ワークシート実施前の授業で、説明文教材を2つとりあげ、分かりやすく読み手に伝えるための構成を学習した（意見 ⇒ 根拠 ⇒ 具体例 ⇒ まとめ）
- 実生活（身近なもの）の話題を提示し、説明文の構成を使って、自分の意見を書かせ、発表させた。

● 「はじめ」「中」「終わり」を「序論」・「本論」・「結論」に変更した。

● ワークシート実施前の授業で、説明文教材を2つとりあげ、分かりやすく読み手に伝えるための構成を学習した（意見 ⇒ 根拠 ⇒ 具体例 ⇒ まとめ）

● 実生活（身近なもの）の話題を提示し、説明文の構成を使って、自分の意見を書かせ、発表させた。

成果や改善点

- 文章の構成を読み物教材を通じて理解できたことを踏まえて、自分で文章をつくることにチャレンジできた。
- 順序を表す言葉を意識させ、順序立てて物事を説明すれば相手にわかりやすく伝わるということ意識させることができた。
- ワークシートに補助的な説明を載せているにもかかわらず、「何を書けばいいかわからない」という生徒が多数いた。20分では個別指導が行きとどかず、考え込んで書くことができない生徒がいた。構成は理解できていても、具体的に文章を書くことがまだまだ苦手な生徒がいるようである。

子どもの様子（発言、ノート、板書、解答例、写真等）

